

2019/2/13

MiTA

水島ポートニュース
Mizushima International Trade Association

Vol. **65**



Contents

特集

港湾の中長期政策 『PORT 2030』の 策定と水島港の展望

- ・港湾の中長期政策『PORT 2030』
- ・『海外ポートセールス(韓国)』を実施
- ・『水島港利用促進セミナー(岡山)』を開催
- ・『JFE西日本フェスタinくらしき』へ出展
- ・日本遺産に認定された玉島港①
- ・高梁川大橋の橋桁設置が完了
- ・水島港の外貿定期コンテナ航路等の紹介



1.はじめに

国土交通省港湾局は、2030年頃を目標時期とする港湾の中長期政策を策定することとし、平成28年4月より交通政策審議会港湾分科会において約二年三ヶ月の議論を行い、昨年七月に「港湾の中長期政策「PORT2030」としてとりまとめを行い、公表しました。

2.新しい中長期政策

(1)策定の背景

我が国の港湾行政は、これまでも社会情勢の変化に対応し、「二十一世紀への港湾」「大交流時代を支える港湾」などの中長期政策を策定し、これを踏まえ個別施策を推進してきました。

近年では、国際コンテナ・バルク戦略港湾政策など喫緊の課題への対応を講じてきましたが、状況はさらに変化してきており、急速な船舶の大型化、中国の「二帯一路」政策に代表されるようにアジア近隣諸国の戦略的な海外港とのネットワーク拡充、高度経済成長期に数多く整備された港湾施設の老朽化の進行、爆発的に増加してきているクルーズ船や旅客の受け入れのための港湾整備や空間づくり、臨海部産業の構造転換や新たな物流産業の立地を円滑に進めるための港湾空間の利用再編や面的再開発の推進、港湾の運営や建設・維持管理へ近年急速に進化を遂げる情報化技術の活用などが求められてきています。

PORT2030は、こうした情勢の変化を踏まえ策定したもので、省庁再編後では初めての中期政策です。(2)PORT2030のポイント

⑤新たな資源エネルギーの受入・供給等の拠点形成
臨海部の石油関連産業や、地域経済を支える基礎素材型産業の競争力を強化するため、他省庁等とも連携し、輸送インフラの更新・改良・強靱化を促進します。例えば、石炭など従来から力を入れてきた資源の輸送について、船舶の大型化や調達先の多様化に対応するとともに、ICTを活用した企業間共同輸送を促進します。更に、我が国の資源エネルギー等の安定的・安価な供給や海洋権益の保全を図るため、洋上風力発電や水素供給、バイオマス燃料供給等の拠点確保を通じて、資源エネルギーの多様化へ貢献していきます。

⑥港湾・物流活動のグリーン化

港湾分野の面からも地球環境問題に積極的に対応していくため、洋上風力発電の導入や、船舶・荷役機械・トレーラー等の輸送機械の低炭素化、陸上給電設備の導入等の「CO2排出源対策」を行うとともに、鉄鋼スラグ等の産業副産物を有効利用した藻場等のブルーカーボン生態系の活用等による「CO2吸収源対策」を促進し、世界に先駆けた「カーボンフリーポート」の実現を目指します。また、LNGバンカリング拠点を形成することにより環境に優しい港湾を目指します。

PORT2030は、我が国港湾が果たすべき役割として、ネットワーク形成と空間創造について「1.列島を世界に開き、つなぐ港湾【Connected Port】」「2.新たな価値を創造する空間【Premium Port】」を掲げるとともに、近年、目を見張る速度で進化する革新的技術を最大限に活用し、物理空間だけでなく情報空間も合わせてつなぎ、第4次産業革命を先導するプラットフォームを構築する「3.第4次産業革命を先導するプラットフォーム【Smart Port】」という3つの役割として掲げました。これらに基づき、本中長期政策では、2030年頃に港湾に求められる機能とそれを実現するための具体的施策を以下8つの柱にまとめました。

①グローバルバリューチェーンを支える海上輸送網の構築

我が国の産業の国際競争力を向上させるため、成長著しい東南アジア地域等へのシャトル航路を戦略的に重要な航路と位置付け、国内主要港からの直航サービス強化するとともに、背後地においては、ロジスティクスハブを形成し、アジア等からの貨物の集貨を目指します。更に、農林水産物等の輸出を強化するため、小ロット貨物について複数企業による共同調達・共同輸送を促進します。加えて、アジア地域を中心に国際フェリー・ROROやコンテナシャトル航路を強化するための施設や環境整備を進め、多様な速度帯からなる重層的な航路網形成を目指すこととしています。

②持続可能な新たな価値を創造する国内物流体系の構築

⑦情報通信技術を活用した港湾のスマート化・強靱化
貿易手続をはじめ港湾に関する様々な情報を電子的に接続し、連携させる「港湾関連データ連携基盤」を構築します。この基盤上で、全ての港湾情報や貿易手続を電子的に取り扱うことを標準とする環境「港湾の完全電子化」を形成し、この基盤と海外港湾や異業種の情報プラットフォームを接続することにより、貨物情報や観光情報等と連携を図る、「Cyber Port」を実現します。これにより、国際貿易、臨海部防災その他多様な分野で、港湾情報を核とした新たな情報活用ビジネス・サービスの創出を目指します。

また、ターミナルの生産性向上や労働環境改善の観点では、AI、IoT、自動化技術を組み合わせ、コンテナ蔵置計画の最適化や貨物の搬入・搬出の迅速化等を図り、世界最高水準の生産性を有する「AIターミナル」の形成を目指します。そして、将来的には、その技術とインフラ整備をパッケージ化し、海外港湾へ積極的に輸出することを目標としています。

一方、大規模・広域的な災害に対し、早期復旧・復興を支援するため、岸壁や臨港道路等の耐震化等を進めます。また、災害発生直後の緊急物資輸送に迅速に対応するため、津波警報等により現場に人が近づけない場所であっても、高度なセンシング技術やドローン等を活用、更には、被災情報を統合・分析し、被災状況やインフラの利用可否、代替ルート情報等を迅速に提供できるシステムを構築します。平成三十年七月豪雨や九月の北海

内航フェリー・RORO航路については、国と、改革に意欲的な運航事業者、港湾管理者等が協力し、船舶及び港湾の双方の設備や運営体制を検討するための「ユニットロード生産性革命協議会(仮称)」を設置し、輸送生産性の向上や災害時等の機動的な対応が可能となるよう、岸壁の規格統一・標準化のための体制構築を目指します。

また、国際コンテナ戦略港湾への集貨等を促進するため、ふ頭再編による国際コンテナターミナルと内貿ユニットロードターミナルを近接化させ、港湾



【次世代高規格ユニットロードターミナル】のイメージ

道胆振東部地震発生後、離島や陸路が寸断され孤立した沿岸地域等において、海上ルートによる緊急物資輸送、市民移動支援、給水・入浴・洗濯その他生活支援等において港湾業務艇が活躍しました。このため、平常時から、地方港湾も含め港湾施設やその利用状況を把握し、災害時に円滑に輸送支援を実施できるよう事前に関係者との協力関係を強化するとともに、生活支援の一部を担うことも想定し、港湾業務艇について必要な性能等を確保していきます。



港湾業務艇について必要な性能等を確保

と背後の道路等とシームレスな接続、船舶大型化に対応した岸壁整備・改良を推進します。加えて、海上輸送の安全性・効率性向上を図るため、AI(人工知能)等を活用した船舶自動運航・航行支援技術の導入促進を図るとともに、高規格な荷役機械、自動運航船舶と連携した自動離着岸システム、決済を効率化するシステム等を実装した「次世代高規格ユニットロードターミナル」を展開します。更に、情報通信技術(ICT)の活用によるトラック・シャーシ位置のリアルタイム把握等の導入により、輸送の効率化と品質管理の向上を図っていきます。

③列島のクルーズアイランド化

我が国発着クルーズを拡大し、「北東アジアのクルーズハブ」を形成すべく、官民連携による国際クルーズ拠点の形成やフライ&クルーズの促進等に取り組んでいきます。特に、外国人クルーズ旅行客のリピーター化を促すため、ターミナルビル等において無料無線LAN整備、案内の多言語化等に対応し、利用者の利便性の向上を図ります。また、日本人クルーズ旅行客の増加を図るため、近年、高質化が進む国内・国際フェリーとの連携を図っていきます。更に、鉄道・航空等とのシームレスな接続・連携を図り、島嶼部等も含めた広域周遊ルートの形成を目指します。

④ブランド価値を生む空間形成

近年、物流・産業機能が沖合展開していく中で、物流機能移転後に低利用化している内港地区等において、民間資金も活用した新たな手法による港

⑧港湾建設・維持管理技術の変革と海外展開

港湾建設における生産性・安全性の向上と将来の労働力不足に対応するため、建設生産プロセス全体で三次元データを使用するCIMを積極的に推進します。マルチビーム・水中ソナー・AR(拡張現実)等の先進技術や、IoT・ロボットを活用したモニタリング等の点検業務の効率化を進める等、維持管理業務における生産性の向上を推進し、「i-Construction」の取組を更に深化させていきます。併せて、港湾関連事業者の海外展開を支援するため、技術基準等の国際標準化を進め、ICT等を活用した我が国の先進的な港湾の建設・維持管理・運営技術をパッケージ化し、輸出していきます。

3.水島港における展望

PORT2030の各施策は、対象とする地域を特定していません。これらを踏まえ、それぞれが目指すべき港湾の将来像を考え、展望することを目指すためです。

水島港では現在、水島港国際物流ターミナル整備事業と国際物流ターミナル・臨港道路整備事業が進行中ですが、水島港を取り巻く社会・経済情勢は今後も変化を続けていくと考えられます。

水島港の港湾ユザラーの皆様のご意見を大切にしながら、PORT2030の施策が次期港湾計画策定の一助となれば幸いです。

『海外ポートセールス(韓国)』を実施



釜山北港

平成30年11月7日(水)～9日(金)の3日間、韓国(ソウル、釜山)において、水島港運協会の村瀬勇人会長を団長とするMITA訪問団17名で、水島港のポートセールスを実施しました。

現在、水島港には韓国、中国、ベトナム及び台湾の3か国1地域に、18航路週19便の定期コンテナ航路を有していますが、中でも韓国航路では7社が週11便を運行しており、これは、北九州(18便)、東京(16便)、博多(13便)、名古屋(12便)に続く全国第5位の就航数となっています。県内企業の競争力強化のためにも、この利便性の高い航路数の維持・拡大を図ることが必要だと考えられます。



ソウルでの水島港セミナーの様子

現地では、まず、ソウルにおいて、水島港と韓国間に定期コンテナ航路を有する船社6社(天敬海運(株)、興亜海運(株)、高麗海運(株)、汎州海運(株)、長錦商船(株)、南星海運(株))を訪問し、定期航路運航に対する謝意を伝達するとともに、今後のサービスの維持・拡充を依頼しました。

釜山では、釜山港を管理する釜山港湾公社を訪問するとともに、水島―釜山航路を運航するカメリアライ(株)の総代理店・高麗FERRY(株)を訪問し、今後のサービスの維持・拡充を依頼しました。

釜山港湾公社では、世界有数のハブ港湾である釜山港の概要や管理運

営状況をお伺いし、同公社の専用船で海上から釜山北港を視察しました。釜山港の2017年のコンテナ取扱量は、20,493千TEUで世界6位、うち北港では7,000千TEUを取り扱っています。今回視察はできませんでしたが、北港の西方25kmにある新港に大規模コンテナターミナルを整備しており、新港では14,000千TEUを取り扱っています。釜山港の取扱貨物のうち日本の占める割合は15%で、日本各地と84航路で結ばれており、更に就航先を拡大したいとのことでした。

北港では、博多、下関、大阪や対馬へのフェリーや高速船が就航する釜山港国際旅客ターミナルを2015年に整備し、現在、商業・オフィス施設、文化施設等を整備する計画を進めています。遠洋航路を中心に徐々に新港にコンテナの取り扱いを移行しており、北港の取扱量は減少しているとのことですが、日本の地方港との路線は北港が中心で、依然、横浜港や神戸港の2倍以上のコンテナ貨物を取り扱っており、広大な岸壁に多数の大型ガントリークレーンが林立する光景は印象的でした。

今回のポートセールスでは、ソウル、釜山の両市において水島港セミナーも開催し、今回訪問した船社等からそれぞれ22名、23名の参加をいただきました。セミナーでは、水島港PR動

画やパワーポイントを使用し、水島港の概要を説明するとともに、倉敷みなど大橋の開通や水島港国際コンテナターミナルのガントリークレーン4基体制化など最新動向を紹介しました。韓国側の招待者には、日本語が堪能な参加者も多く、日本駐在経験者もおり、旧知の訪問団員と旧交を温めるとともに、水島港の更なる利用促進に向けて活発な意見交換が行われました。

MITAでは、今後とも引き続き官民一体となり、水島港のコンテナ航路の維持・拡大につながるよう積極的なポートセールスに努めてまいりたいと考えております。



船社訪問の様子

『水島港利用促進セミナー(岡山)』を開催

平成30年11月19日(月)、ホテルグランヴィア岡山(岡山市北区駅元町)において、県内の製造業を中心に83社103名(関係者除く)のご参加をいただき、水島港利用促進セミナー(岡山)を開催しました。

岡山県の樋之津和宏土木部長の挨拶の後、同港湾課の井元康夫課長が水島港のPR動画を活用して「水島港の概要について」、また、水島港国際物流センター(株)の三村富士男社長が「水島港国際コンテナターミナルについ



セミナー会場の様子

て」紹介を行いました。

続いて、水島港に外貨定期コンテナ航路を有する船社であるワンハイライズ(株)大阪支店長の斉木信也氏、民生輪船有限公司神戸支店代表の王凌翔氏、神原汽船(株)定期船部部長の郡山康浩氏、(株)シノコー成本営業部営業第二チームの司城大輔氏の4氏が自社及び水島港でのサービスについて紹介を行いました。

参加者の約半数から回答いただいたアンケートでは、現在水島港を利用しており、引き続き利用したいという回答が50%、一部利用しており、更に



商談会の様子

利用したいという回答が18.5%、今は利用していないが、利用を検討したいという回答が16.7%あり、水島港への期待の高さが窺えました。プレゼンテーションの内容については、概ね評価が高く、水島港の概要や各船社のサービスが良く分かったという回答も複数寄せられました。

現在、水島港には、韓国、中国、ベトナム及び台湾の3カ国1地域へ18航路週19便という地方港の中では充実した外貨定期コンテナ航路が就航しています。今回は、プレゼンテーションを行っていた4社の水島港からの直行サービスだけでなく、高雄港、上海港や釜山港などハブ港湾における充実したフィーダーサービスも紹介いただくことで、水島港の利便性の高さを効果的にPRできたのではないかと考えています。

セミナー終了後には、水島港国際物流センター(株)、プレゼンテーションを行った各船社及びその水島港代理店4社が出展する商談会を実施し、荷主企業の実情に応じた具体的な取引条件の確認など28件の商談がありました。新たに水島港の利用を検討している企業からの商談も多く、商談会後のフォローにより成約に至ることが期待されます。

セミナーで講師を務めていただいた船社の担当者からは、代理店と共に



船社によるプレゼンテーションの様子

商談会に参加する機会は少なく、荷主の生の声を聞くことができ、大変参考になったとの感想をお伺いしました。また、セミナー参加者からは、今後も同様のセミナーを開催してほしいという要望も寄せられ、商談会へ出展した代理店からも顧客開拓に役立つとの声が聞かれました。

今回のセミナーは参加者も多く、概ね好評であったと同時に、代理店からはまだまだ水島港の利便性を知らない県内企業が多いという感想もあつたことから、新規顧客を開拓し、更なる集荷を図るためにも、MITAとしても今後も地元でのセミナーを継続して開催することを検討してまいります。

『JFE西日本フェスタinくらしき』へ出展

平成30年11月3日(土)、JFEスチール株式会社西日本製鉄所(倉敷地区)で開催された「JFE西日本フェスタinくらしき」に出展を行いました。今回で10回目の出展となるMITAのブースでは、水島港の概要を紹介するパネルの展示、水島ポートニュースの配布や水島港PR動画の放映などにより、水島港の概要、最新動向を紹介しました。

当日は好天に恵まれ、フェスタ全体の来場者は約11万人(主催者発表)に上り、MITAのブースにも非常に多くの来場者がありました。荷役体験機(クレーンゲーム)によるアトラクションは長蛇の列となり、家族連れに大好評でした。



大人気のクレーンゲーム



ブースに並ぶ来場

日本遺産に認定された玉島港①

平成29年度に、山形県酒田市など日本海沿岸の11自治体による、北前船寄港地・船主集落をテーマとしたストーリーが日本遺産に認定されました。30年度には、倉敷市を含む27市町が新たに追加認定され、玉島港・下津井港の倉敷市の2つの港が日本遺産になりました。それを記念して、今号から3回に渡って玉島港と日本遺産の構成文化財を紹介していきます。



明治期の玉島港の様子

北前船とは江戸時代中期(18世紀中ごろ)から明治にかけて、主に日本海航路で活動した商船のことで、北海道から大阪まで各地の港を結び、物資流通の大動脈として、また文化の伝え手としての役割も果たしました。

玉島港は江戸時代初期に備中松山藩主であった水谷(みずのや)氏によって築かれました。それまでの玉島地区は遠浅の海でしたが、水谷氏は農地を増やすため、現在の船穂町付近から次第に干拓を進めていき、現在のような広大な平野が出来あがったのです。玉島港は備中松山藩の外港として整備されました。1671年に乙島(阿弥陀山(羽黒神社がある小丘))と柏島を結ぶ潮止め堤防が完成、阿弥陀山と柏島間の幅53m、長さ391mの大堤防の上の間屋街が誘致されました。

玉島港の最大の積み出し品は周辺で栽培されていた備中綿でした。干拓地では土地に塩分が残ってしまうため、最初は米作りに向かず、塩に強い綿が栽培されました。また、綿の栽培には大量の肥料が必要だったため、移入品は北前船によつて北海道から運ばれたニシン粕などの肥料であり、最盛期には売買される商品のほぼ8割が綿関係で占められていたといえます。

構成文化財① 羽黒神社の奉納物

羽黒神社は備中松山藩主、水谷勝隆が玉島港築港に際して、その完成を祈願し水谷家の鎮守である出羽の羽黒権現を勧請したものです。

玉島港は北前船が横付けして荷下ろしができる港であったことから、江戸から明治期にかけて、北海道や東北、北陸から各地の物産を積んだ船が来航し、瀬戸内有数の名港として繁栄したのです。

羽黒神社はその玉島港の守り神として船乗りたちの信仰を集め、船絵馬や玉垣などが寄進されました。

現在でも参道や本殿周辺の玉垣には、秋田、能登、函館など各地の商人が寄進したものが残されています。

(倉敷市日本遺産推進室)



羽黒神社の奉納物(玉垣)

一般国道2号倉敷立体 高梁川大橋の橋桁設置が完了

至広島



至大阪

平成30年12月撮影



平成30年12月撮影

国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所が整備している「国道2号倉敷立体事業」は、国道2号の交通渋滞緩和や、円滑な物流による経済活動の支援等を目的とした道路整備事業です。現在は倉敷市船穂町区間の橋脚の工事や高梁川にかかる新橋の工事など現在の2車線から4車線化に向けた工事が進んでいます。

なかでも、高梁川大橋については、上流側にかかる新橋が姿を現し始めました。

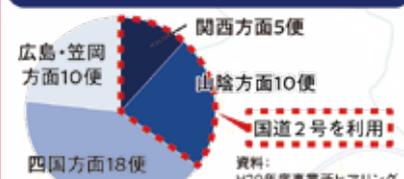
平成30年5月に船穂町側から橋桁が設置されはじめ、11月末に片島町側の桁の設置が完了し、ついに新しい橋桁で片島町側と船穂町側がつながりました。

今後は床版の工事に移っていき、31年度中の供用開始に向けて着実に工事を進めていきます。

(国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所)

倉敷立体事業により期待される効果【物流活動の支援】

飼料製造関連企業から出荷する方面別の便数



全国の港湾における穀物輸入量



資料：H27港務統計
※ 粟、米、とうもろこし、豆類、その他雑穀を穀物として集計

期待される道路の役割(効果)

玉島HIから早島ICまで

【現況】	約37分
【整備後】	約28分

玉島HIから早島ICまで 整備後、倉敷立体経由で 約9分短縮

現況：H27全国道路・街路交通情勢調査最速時通行速度
整備後：事業区間は規制速度60km/h(市道は40km/h)として計算



水島港は国際拠点港湾であり、鉄鋼、石油化学、自動車など多様な産業が立地する水島臨海工業地帯の玄関口です。また、穀物と鉄鋼石の国際バルク戦略港湾に位置付けられています。特に穀物(とうもろこし、大豆等)の輸入手量に関しては全国5位であり、中四国地方で最大の飼料生産拠点として機能しています。

平成29年には、玉島ハーバーアイランドに導入された

イランドに飼料製造関連企業が進出しました。そこで製造された飼料の関西や山陰方面への配送は、国道2号を利用して行っています。しかし、高梁川大橋は現在2車線となっており、渋滞が発生しているため、物流に支障をきたしています。

倉敷立体事業によって渋滞が緩和し、関西や山陰方面への搬送所要時間の短縮が期待されます。



玉島ハーバーアイランドに進出した飼料製造関連企業

- 【サイロ企業】
海外より輸入される穀物・大豆等を搬入・保管し、隣接の2社へ搬出。
- 【食品製造企業】
大豆から大豆油を抽出。大豆油は海運にて神戸港へ輸送。大豆ミールは飼料製造企業へ。
- 【飼料製造企業】
サイロ企業・食品製造企業より飼料原料を仕入れ、配合飼料を製造。養鶏・畜産関連の企業にトラック輸送。
- 資料：H29年度事業所ヒアリング



水島港の定期コンテナ航路等の紹介

◆外貿定期コンテナ航路(3ヶ国1地域18航路 19便/週)◆ 2019年1月末現在

曜日	航路	船社	航路	代理店
月	ベトナム	ワンハイラインズ(株) Wan Hai Lines Ltd.	(月) (木) (土・日・月) (月) (水・木) (金・土) (水) (水・木) (木) 博多→水島→神戸→大阪→蔚山→釜山→台北→台中→高雄→ダナン→ホーチミン→高雄→台中→台北→博多	中谷興運(株)
	大連	神原汽船(株) Kambara Kisen Co.,Ltd	(火) (木) (金) (月) (火) (土) 天津新港→大連→青島→福山→水島→広島→細島→志布志→寧波→上海	日本通運(株)水島海運支店
	韓国	南星海運(株) Namsung Shipping Co.,Ltd	(土・日) (月) (水) (土) 釜山→水島→広島→三島川之江→岩国→大竹→浜田→釜山	日本通運(株)水島海運支店
火	韓国	高麗海運(株) Korea Marine Transport Co.,Ltd.	(木・金) (金) (金・土) (火) (木・金) 浦項→蔚山→釜山→大阪→神戸→水島→福山→広島→浦項	中谷興運(株)
	韓国	長錦商船(株) Sinokor Merchant Marine Co.,Ltd	(日・月) (火) (土・日) 釜山→三島川之江→水島→福山→高松→大竹→岩国→釜山	山九(株)岡山支店
	大連	民生輪船有限公司 Minsheng Shipping Co.,Ltd.	(木) (土) (火) (金) (土) 大連→青島→伊万里→福山→水島→高松→広島→三田尻中関→大連→青島	(株)上組玉島支店
	上海	民生輪船有限公司 Minsheng Shipping Co.,Ltd.	(土) (火) (土) 上海→福山→水島→高松→広島→岩国→上海	(株)上組玉島支店
	福州	吉舟船務有限公司 Ji Zhou Shipping Co.,Ltd.	(木) (金) (金・土) (火) (木) 廈門→江陰→福州→水島→大阪→横浜→東京→名古屋→福州→廈門	日本通運(株)水島海運支店
	上海	神原汽船(株) Kambara Kisen Co.,Ltd	(金) (土) (火) (火) (木) (金) 寧波→上海→伊万里→福山→水島→広島→志布志→天津新港→大連→青島	日本通運(株)水島海運支店
	韓国	興亜海運(株) Heung-A Shipping Co.,Ltd.	(月) (水) (木) 釜山→今治→松山→三島川之江→水島→釜山	日本通運(株)水島海運支店
水	韓国	南星海運(株) Namsung Shipping Co.,Ltd	(土・日) (水) (金) 釜山→三島川之江→松山→今治→水島→北九州(ひびき)→釜山	日本通運(株)水島海運支店
	韓国	汎洲海運(株) Pan Continental Shipping Co.,Ltd.	(月) (木) (金) (土・日) 釜山→広島→神戸→大阪→高松→水島→釜山	中谷興運(株)
木	韓国	カメリアライン(株) Camellia Line Co.,Ltd.	(金・土) (水) (金・土) 釜山→細島→志布志→大阪→水島→大分→釜山	中谷興運(株)
	韓国	高麗海運(株) Korea Marine Transport Co.,Ltd.	(火) (金) (日) 釜山→徳島→福山→高松→水島→松山→釜山	中谷興運(株)
	上海	民生輪船有限公司 Minsheng Shipping Co.,Ltd.	(火) (金) (火) 上海→三田尻中関→水島→福山→広島→徳山下松→上海	(株)上組玉島支店
	上海	神原汽船(株) Kambara Kisen Co.,Ltd	(火) (金) (火) 上海→福山→水島→三島川之江→広島→大分→上海	日本通運(株)水島海運支店
金	韓国	長錦商船(株) Sinokor Merchant Marine Co.,Ltd	(水・木) (金) (日・月) 釜山→三島川之江→水島→広島→徳山→釜山	山九(株)岡山支店
	韓国	天敬海運(株) C.K.Line Co.,Ltd.	(水・木) (土) (日) (月・火) (水・木) 釜山→神戸→大阪→水島→釜山→仁川→釜山	中谷興運(株)
土	韓国	興亜海運(株) Heung-A Shipping Co.,Ltd.	(木) (土) (日・月) 釜山→広島→福山→水島→釜山	日本通運(株)水島海運支店

◆内貿定期コンテナ航路(4航路 9便/週)◆

曜日	航路	船社	航路	代理店
火木土	神戸	(株)ユニエックス Uni-x Coporation	神戸→水島→神戸	中谷興運(株)
火木	神戸	井本商運(株) Imoto Lines ,Ltd	神戸→水島→神戸	(株)上組玉島支店
火木土	神戸	オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド日本支社 Orient Overseas Container Line Ltd Japan Branch	神戸→水島→神戸	(株)上組玉島支店
木	沖縄	南日本汽船(株) Minami Nippon Kisen Co.,Ltd.	那覇→呉→新居浜→三島川之江→水島→高松→新居浜→那覇	日本通運(株)水島海運支店

■お問い合わせ先

中谷興運株式会社 玉島支店

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-2(玉島ハーバーアイランド内) / TEL.086-522-6321(代) / FAX.086-522-6631

【営業課】TEL.086-522-7600(貨物取扱全般) 【倉庫・陸運課】TEL.086-522-6494(倉庫・配送)

【通関課】TEL.086-522-6492(輸出入通関) 【海務課】TEL.086-523-5551(船社代理店・CY) ホームページアドレス <http://www.nakatani-grp.com/koun/>

日本通運株式会社 水島海運支店

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8259-15(玉島ハーバーアイランド内)

【国際営業課】TEL.086-523-0203 / FAX.086-523-0404(国際営業)

【海運課】TEL.086-523-0205 / FAX.086-523-1471(港湾荷役・倉庫・配送)

【国際輸送課】TEL.086-523-0203 / FAX.086-523-0404(通関・フォワーディング)

【オペレーション課】TEL.086-523-0223 / FAX.086-523-1471(作業関係)

【代理店課】TEL.086-523-0204 / FAX.086-523-1755(船社代理店関係)

ホームページアドレス <http://www.nittsu.co.jp/>

株式会社 上組 玉島支店港運課

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-1 / TEL.086-525-8670 / FAX.086-525-0890 ホームページアドレス <http://www.kamigumi.co.jp/>

山九株式会社 岡山支店 業務グループ

【船舶代理店関係/港運係】 〒712-8051 岡山県倉敷市中畝1-7-23 / TEL.086-455-8133 / FAX.086-455-8167

【通関・輸出入乙仲関係/輸出入係】 〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-1 / 水島港国際コンテナターミナル4F TEL.086-525-0039 / FAX.086-525-5139

ホームページアドレス <http://www.sankyu.co.jp/>

今号の表紙

玉島ハーバーアイランド空撮(平成30年11月)

MITA(水島ポートニュース)ホームページアドレス

<http://www.optic.or.jp/MITA/> 携帯からはこちら▶▶

